

第 15 回小平市水泳協会理事会

議 事 録

2021・12・2

出席者 会長 ○金子 副会長・理事長代行 ○河野
運営本部 ○清水 ○瀬戸口 ○若林 広報 ○土方 普及 ○堀川 ○竹村 競技 ○堀尾
体育協会代表委員 ○若林 都下水連 ○堀尾
指導員 ○石塚 ○岡部 ×小島

2021 年度成人シルバー指導員・普及委員会副委員長も出席とする。(運営規定第 2 条③適用)

小島指導員は都合により欠席

議 題

A：報告事項

1. 小平市体育協会関係

1) 第 14 回理事会残案件 次回理事会で回答

Q→小平市体育協会加盟団体として先行して当協会から税負担をしている事は、質疑応答で説明して頂いて構いません。地域スポーツの振興が体育協会の目的と約款に記載してある。

税負担は原理原則なのかもしれませんが、本件の推進が加盟団体に加入しないスポーツ団体が加速するか考えられませんか？

A→次回理事会で回答

2. 東京都水泳協会関係 なし

3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) 教室会費 11 月 29 日振替結果

→12 月 3 日 (金) がアプラスから結果報告の為、結果については関係者へメール配信とする。

2) 11 月度みずほ銀行口座会計報告

→次回理事会で報告

3) 11 月度ゆうちょ銀行口座会計報告 11 月末残高：175,132 円

→管理台帳回覧にて確認を行った。

4) 各委員会で 2021 指導員以外の委員へ第 19 回理事会～第 23 回理事会へ出席要請結果

※ () は返信結果 返信締切：11 月 30 日 (火)

広報委員会⇒中條委員 (第 22 回 3/17 出席) 中村委員 (第 19 回 2/3 出席)

競技委員会⇒関口副委員長 (欠席) 権田委員 (未回答)

水野委員 (欠席) 松尾委員 (欠席) 榎本委員 (欠席)

鈴木 (良) 委員 (第 19 回 2/3 出席・第 22 回 3/17 出席)

市町村総体特別委員会⇒水野委員 (未回答)

→市町村総体特別委員会/水野委員は次回理事会にて河野副会長より回答とする。

5) 第 3 回水中ウォーキング教室及び口座振替担当者への報償費支払い

本理事会終了後に該当者へ振込を行う。今年の源泉徴収票発行についての情報提供は清水運営本部長から河野副会長へ情報提供を行う。

→報償費支払い記録は三役及び理事へメールにて配信とした。

市民まつり実行・会議管理部門

1) 11 月 26 日 (金) 部門内で 2022 年度事業計画、予算案を確認しました。

2) 3 月 10 日 (木) 19:30～ 総合体育館第 2 会議室

- ・ 2022 年度総会案内文発送
- ・ 部門会議 総会に向けて

・今回も封筒での発送を考えています。各委員会からの同封物等があれば当日持をお願いします。

- 3) 来年度の議案書データを Dropbox へ格納しました。
→各担当は1月末までに入力をお願いします。

5. 広報委員会

- 1) 広報委員会開催
12月1日(水) 体育館第3会議室 19:05 から
議題：来年度の委員会活動及び体制について
- 2) 12/1 2か月教室2月3月教室募集ポスター 3F 通路掲示しました。

6. 普及委員会

- 1) 第4回水中ウォーキング教室同意書 11/8 に送信したメールの①③④の回答（第14回理事会継続案件）
についての報告(別途参照資料あり)
→提出資料にて回答をした。プール用マスクの有無を追記して第4回水中ウォーキング教室から運用とする。
プール用マスクは協会指定のプール用マスクを購入して頂く事は明記する。
- 2) 指導員用スイミングキャップについての見解
前回の理事会ならびに11月21日に発信したメールにも示した通り、従来通りです。
指導員用のスイミングキャップは、初回はネーム刺繍を入れてお渡し(普及委員会予算から購入)
2回目以降は、普及委員会が年度末に必要な方を募り、必要枚数を確認の上購入
(刺繍代金+スイミングキャップ代金は普及委員長立替、後日スイミングキャップを引き換えて実費を徴収)
→従来のルールを説明した。
刺繍に関しては従来利用していた業者が連絡不可の為、小平市の加藤スポーツを検討する。
加藤スポーツから刺繍代金の見積書を提出して頂く。(担当：河野副会長)
- 3) 第4回水中ウォーキング教室感染防止ガイドラインの修正
→Dropbox 内の以下へ格納の「11月27日付け」を最新版としてメール配信及び水協 HP で情報公開とする。
【格納場所】
市民水泳教室→資料→ガイドライン→第4回水中ウォーキングガイドライン (11月27日修正)
- 4) 第3回水中ウォーキング教室 (担当指導員より報告)
開催期間：10/18・25 11/8・15・22・29 (開催は月曜日) 全6回
参加者：12名 (全て女性) 平均年齢：66.4歳 (40代1名 60代7名 70代4名)
指導：石塚指導員 10/18のみ水野(千)指導員
6日間の出席率：86.5%
- 【参加者からの声】
- ①人数が以前と違って少人数でゆったり運動ができた。
 - ②女性限定にしてほしい。
 - ③申込がHPからなので、mail アドレスを持っていない友人と一緒に申込が出来ない。
 - ④通年開催にしてほしい。
※参加者は都合の良い期間のみ支払っての参加を考えているよう。
 - ⑤民間のジムに入っていたが、小平のプールはどんなだろうと応募した。
今回、水に親しむことが初めて楽しいと感じ、フリーでも小平のプールに来るようになった。
※ワンポイントを勧めました。
- 参加者からの声に対して以下の意見あり。内容については今後協議とする。
- ③家族ならともかく友人のメールアドレスからでは同意書など個人情報などがあるので不適切と考える。
メールアドレスを利用出来ない申込者が今後は申込出来ないなど、大きくかじ取りする時期である。
 - ④市民水泳教室で在籍数が減った教室は通年開催の水中ウォーキング教室にしても良いのではないか。
今年度から2か月教室を開催して従来の方法から変更した。2022年度教室開催も衣替えする
チャンスである。

【指導員からの意見要望】

- ①今回12名全員女性だったので、一般がいなければ全員一回で更衣室に入れたが指導員は13番目なので更衣するまでに時間がかかった。
- ②今回は補助を必要とする参加者がいなかったなので、一人指導でも可能だった。
- ③指導が終わり参加者さんには5分から10分コース内を自由に使用してもらっている時間を利用して、安全確認しながら補助具の消毒や片付けに手間どった。
- ④開催当日、同意書の確認マスクの領収証の受け渡しがあるので、可能であればご挨拶がてら会長に来て頂きたい。→出来る限り出席する。

※参加者の声も含め普及委員会で報告頂いた内容は検討とする。

7. 競技委員会 なし
8. 都育成事業特別委員会 なし
9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

- 1) 生涯スポーツ2021の表彰状が体協経由で都水協から送付された。
- 2) 都水協新春マスターズ大会50mエントリー12月3日締め切り
- 3) 11月20日(土) 東京都マスターズ水泳競技大会(50m)2021参加報告を協会HPへアップした。
- 4) 第14回理事会残案件 次回理事会にて回答
Q→水協マスターズニュースNo7の作製をお願いします。
A→金子会長及び清水運営本部長で作製とする。

11. その他報告事項

- 1) 体協より依頼あり、ワンポイントレッスンの実績報告を11月末締め、12月に指導料の支払いとのこと。実績報告は安部指導員が担当。
Q→指導員は源泉額を知っていますか？当協会からの報償費支払い時の源泉額と都育成事業特別委員会の額が違う。ワンポイントレッスンの源泉額が当協会からの源泉額と同じなら問題ないが違う場合は説明が必要。
A→指定管理者へ確認する。(担当：金子会長)
- 2) 体育館プールでの緊急時のライフガードの対応については、体協がマニュアルを作成する。
なお、作成されるまでは、救助、救急隊の要請については体育館側が、教室会員の誘導は水協指導員が行う。教室会員の家族等への連絡は水協が行う。
- 3) 感染防止ガイドライン等の内容が、ライフガードに周知されていないとの指導員から報告がありましたが、水協作成のガイドラインの最新版を体育館側に渡し、周知してもらうこととした。
- 4) 第14回理事会残案件 管理方法は次回理事会にて行う
教室会員カードの管理について
普及委員会保管：成人用104枚 ジュニア用65枚
キャビネット内保管：成人用35枚
2020年1月28日作製のジュニア用400枚
→2020年1月18日作製のジュニア用400枚は入会セットと各庶務へ配布した。
入会セット(120枚)はそのままとし、各庶務へ配布品は普及委員会で回収している。
次回理事会で報告とする。
- 5) 中條正会員より12月1日(8時47分)「お手続きのお願い」のタイトルでメールが届いた。
宛先は金子会長及び清水運営本部長で内容は以下

個人的な事で申し訳無いのですが、只今、多忙で有り、水泳協会のお手伝いが、出来なくなっています。期途中では、有りますが、「小平市水泳協会の退会の手続きをお願いします。」お手数をお掛けして申し訳無い有りますが、宜しくお願いします。 中條洋子 2021年12月1日

→12月1日付退会で受理。

6) タッチ板の修理もしくは新規購入の市長宛ての要望書を11月27日(土)に文化スポーツ課へ提出した。

Q→回答は何時頂けますか？

A→確認する。(担当：金子会長)

B：協議事項

1. 小平市体育協会関係 なし
2. 東京都水泳協会関係 なし
3. 都下水泳協会連合関係 なし

4. 運営本部

財政企画・事務管理・広報部門

1) Mfaceの管理について(第14回提案案件)

現在のMfaceアクセス権は三役・理事・都育成事業特別委員会/岡部委員となっている。

IT化で活用するべきであるがルールは明確にする必要がある。

Mfaceで募集などフォーマット作製とデータを集めた時の個人情報管理を別に考える必要がある。

アクセス権は誰でも提供された個人情報を個人PCへ保管が可能である。

紙ベースでの保管期限は事務管理基準で明記されている。電子データの取扱いも協議が必要。

→修正した事務管理基準は事前に第15回理事会出席者へメール配信済

基本的な考え方、閲覧はアクセス権ある方は可能・データを個人PCで保管及び修正するのは担当委員会の委員長とする。

→都育成事業特別委員会はMfaceを応募時に導入の方向であるが、個人PCでの保管及び修正は委員長で可能か？

⇒上記提案で承認。都育成事業特別委員会は金子委員長と岡部委員を管理者とする。

配信済の事務管理基準へ都育成事業特別委員会を追記して清水運営本部から関係者へメール配信を行う。

2) 第4回水中ウォーキング教室開催までのスケジュールなど

12月2日(木)⇒理事会にて石塚指導員が参加者決定

※普及委員会/堀川委員長が事前にMfaceからExcelファイル電子データをメールにて送付

12月3日(金)か4日(土)⇒普及委員会/堀川委員長より参加者へ参加決定通知をメール配信

【参加決定通知には以下の内容が必要】

- ①参加費を振込み 12月10日(金)まで
- ②同意書URLを貼り付け 12月10日(金)まで
- ④ガイドラインを添付
- ⑤協会指定のプール用マスク購入の有無

※プール用マスクの在庫は12月2日理事会に持参致します。

参加者名簿からおおよその使用枚数は決定出来るかと思えます。

多めに石塚指導員へお渡し致します。

12月11日(土)⇒清水より石塚指導員へ参加費振込情報を報告

Dropbox内の名簿へ入金状況は随時入力致します。

未払いの方にはメールにてご連絡致します。

12月11日(土)⇒普及委員会/堀川委員長が同意書の内容を電子データ化し石塚指導員へメールにて送付

紙ベース及び電子データは教室終了後に破棄

12月11日(土)⇒協会HPへ第4回水中ウォーキング教室が12月13日(月)から開催される事と、最新のガイドラインを情報公開

⇒以上日程で承認

3) 2月3月の2か月教室欠員募集までのスケジュールなど

12月17日(金)⇒協会HPへ情報公開

①協会HPへの原稿作成及びアップ(担当：堀川委員長)

②Mface原稿作成者(担当：堀川委員長)

12月20日(月)⇒市報掲載 金子会長が市報原稿提出済

12月27日(月)⇒募集締切

12月29日(水)⇒結果通知をメール配信締切

①抽選及び連絡(担当:堀川委員長)

②同意書(Mface)など参加者へ送付(担当:堀川委員長)

③外部からの入会者への会員カード発行(担当:堀川委員長)

④参加費振込及び既存教室会員の場合は口座振替案内

(担当:堀川委員長・清水運営本部長)

振込は1月28日締切となるが既存会員の振替が応が間に合うか検討が必要。

2022年

1月7日(金)⇒同意書提出締切

欠員募集の同意書情報を纏めて担当指導員へ提出(担当:堀川委員長)

※既に申込済の教室会員への2月3月同意書提出方法は?

1月28日(金)⇒会費振込最終日及び振替日

2月1日(火)⇒2月3月教室開始

⇒担当者を明確にして以上日程で承認

⇒11月12月参加者及び2月3月教室のみ申込者への同意書提出方法は未検討。

次回理事会にて明確とする。

4) 修正予算の提示方法

⇒教室会費預り金を収入から削除とし、次回理事会で提示方法を協議して公開とする。

5) 協会HPのトップページ固定メッセージについて ⇒継続案件

2022年度教室案内に変更をしたい。

2022年1月⇒2022年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などは2月上旬にお知らせ致します。

2022年度4月入会の募集は〇月〇日発行の小平市報にてお知らせ致します。

2月⇒2022年度市民水泳教室及び水中ウォーキング教室日程などが決まりました。

詳細は以下のトピックスからご覧になれます。

6) 2022年水協HPのスタッフブログ名称について ⇒継続案件

2022年4月から教室会員も対象に広げるため、スタッフブログから「ブログ」に名称変更とする。

市民まつり実行・会議管理部門

1) 第20回理事会(2022年2月17日)日程調整

金子会長が第2回ジュニア・シニア事務連絡会に出席の為、当日は成人シルバー指導員も出席対象。

成人シルバー指導員へは、日程調整するメール連絡済。

⇒2月16日(水)に変更、会場については会議管理部門で確保する。

参加対象の成人シルバー指導員へは清水運営本部長から連絡とする。

5. 広報委員会

1) 水協クイズNo.9 2/1発表 応募期間2/1~2/28

12月教室にてミニチラシを配布したい。水協日より「スイスイ」号外にPRを掲載したが、単独の「応募して下さい」ミニチラシを作成して各教室会員に配布をしたい。

2月教室の中で指導員にクイズのPRをお願いしたい。

⇒提出のミニチラシではQRコードが読み取れないので、QR部分を大きくするか、チラシを大きくすることで内容については承認。

⇒今回の水協クイズは2か月教室教室参加者全員を対象とする。

⇒配布は12月7日(火)からとする。そのタイミングでA3サイズのポスター掲示及び水協HPへ今年度2か月教室参加者全員が対象である事も含め情報公開を行う。

6. 普及委員会

1) 指導員用スイミングキャップについて ⇒継続案件

- ・今後、指導員用スイミングキャップは、協会指定のものである必要があるのか協議したい

2) 2022年度 教室体制について (別紙参照)

2022年度の市民水泳教室の枠組みを決めていくにあたり、

- ・2022年度予想される指導員数は最大18名
- ・現在入っている指導員からの意見に、成人・シルバー教室を2名にしたい意向があるが、週16教室の体制での指導員配置が可能か検討
- ・ジュニア教室16:30~18:30の区分時間での、連続2回開催は可能か検討
- ・長期教室を廃止し、3ヶ月を一括りにした短期教室の提案
【4月-6月期 教室】【9月-11月期 教室】【1月-3月期 教室】
- ・水中ウォーキング教室を市民水泳教室の開催期に合わせた提案

⇒提出資料の説明を行った。

本件は2022.4月の予約システムに、12月9日までにプログラムするので、その前にすべてを決定と時間軸が決まっている。教室削減提案では復活する事が不可能の為、指定管理者へ提出した教室日程及び区分とする。詳細は次回理事会で決定とする。

【以下の意見あり】

2021年度の教室規模及び教室体制であれば10名の指導員で教室運営が可能である。

6名から8名/レーンの人数制限になって将来的には人数制限が解除された場合でも6名/レーンで開催すれば10名程度で教室運営は開催可能であるが、負のスパイラルに入る。将来的には教室を選択する事が必要になる。

3) ホームページにて正会員(ボランティアスタッフ)の募集掲載について ⇒継続案件

※次回理事会にて協議の為、提出資料は次回理事会に持参をお願いします。

4) 2-3月期の成人火曜夜間と成人金曜夜間の指導員募集の文章チェックについて

⇒提出資料で承認

7. 競技委員会 なし

8. 都育成事業特別委員会

1) 第12回理事会残案件 スタッフブログへの対応についての提案 ⇒継続案件

2021年9月以降のスタッフブログについて (第11回理事会より継続案件)

2022年2月担当の都育成事業特別委員会担当者よりSDカードを郵送する時に担当不可の連絡があった。

都育成事業内で担当者を決めて次回理事会にて報告と第11回理事会で決まった。

【第11回理事会決定事項】

スタッフブログは、各担当委員会の輪番制や、教室会員へ展開する為に、教室に入る指導員には担当するなど、理事会でルールを決めている事である。

ルールを変えるのであるのであれば提案をして頂きたい。

9. 市町村総体特別委員会 なし

10. マスターズ特別委員会

1) エントリー時に必要な個人参加費のほか、チーム参加費が必要となっている。

2022年度から、水協会計から負担していただきたい。⇒継続案件

一大会1,000円が多く、年間5大会、5,000円を計上したい。

Q→水協として団体登録料は負担している。今までも各大会に参加している場合にチームエントリー料が発生しているのであれば、その負担は個人負担ですか？

過去の参加状況を確認すると少ないと3名程度で多くても7~8名程度である。

マスターズ登録者が小平市水泳協会の人材確保及び協会運営にも繋がる事を意識してマスターズ特別委員会が運営するのであれば、各大会の参加費負担も高額とは思えない。

しかし、デガネには厳しくチェックして頂きたい。

例えば、マスターズは黄色のTシャツを着て参加しているが、伴さんはキャラクター入りのポロシャツを現金購入している。小柴さんへは無料支給済。黄色Tシャツは貸与であればクリーニング代もその都度発生する。キャラクター入りポロシャツで統一して頂きたい。新規加入の方には購入をお願いしたい。また大会ごとに協会旗を持参やブログへの協力など協会運営への協力体制も不可欠である。

A→

11. その他協議事項

1) 2022年4月からのプール利用について（第14回理事会継続案件）

【水協からの要望】

2019年度又は2020年度の開催時間及び日程を確保したい。

体協からの要請

レーン使用について、全教室を2レーン使用のこと。

1レーンの利用人数は現在8名であるが、都の指導により変更有。

貸切りは、団体使用枠の時間帯内で使用すること。なお、枠内の時間帯内であれば、2教室も可。

申込者の少ない教室については、統合するなど、工夫をすること。

【体協からその後の情報】

貸切り枠の時間帯内の使用については、2020年教室体制のジュニア枠開始時間4時15分の15分のみ出し使用は、承認する。ただし全教室2レーンの使用にすること。

メリット:はみ出しの15分間が使用できることで、ジュニア(1)、ジュニア(2)の開催が火～金4日間可能となる。

デメリット:各教室2レーンとなることで、1教室当たりの人数が減少する。

3レーンジュニアの会員へ3レーン認めない。

【その他】

①2022.4月の予約システムに、12月9日までにプログラムするので、その前にすべてを決定したい。

12月2日の理事会までに協議したい。

②ワンポイントレッスンの実績報告を11月締めで行う。12月に源泉徴収して個人の口座に振り込む。

次回の支払いは、3月に実績報告いただき、源泉徴収後4月に支払う。

③ジュニア教室会員（6年生）への意向調査や2022年度市報募集などの準備も平行して必要

⇒詳細は普及委員会協議事項2)で協議を行った。

③については普及委員会からの回答無しの為、次回理事会で報告を頂く。

【2か月教室を開催後の指導員からの意見要望】

成人シルバー指導員1名・ジュニア指導員1名・水中ウォーキング教室指導員1名からの意見要望

①1レーン6名規制から8名規制に変更について

②ジュニア時間枠区分

③成人シルバー教室の継続

④新型コロナウイルス感染症予防対策

⑤2022年度 通年教室にするのか？ 2か月など短期教室にするのか？

3) 指導員確保について（第11回理事会残案件） ⇒継続案件

【第11回理事会決定事項及び意見要望】

意見要望を収集し以下の①②がハードルを高くしている原因である。

今後は①②とも必要条件としない。詳細は継続審議とする。

①指導員資格 ②正会員

【今後の進め方】

①協会としての「目的及び事業」を検討及び確認が必要

第3条 本会は水泳普及の推進母体となり市民の体位向上をはかり、あわせて会員相互の親睦をはかることを目的とする。

第4条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 水泳大会および記録会等の競技会開催
- (2) 水泳教室の開催及び指導者の育成
- (3) 水泳技術に関する研究
- (4) 安全水泳の指導・普及
- (5) 各種水泳競技会への参加
- (6) 機関紙の発行
- (7) その他本会の目的達成に必要なこと。

②短期・中期・長期計画を明確にする。

【短期】

- (1) 2022年度教室に対する指導員確保
- (2) 指導員会議などで現状と指導員資格・正会員のハードルがなくなった事を説明
今までの教室運営が出来なくなった現状を報告し共通認識を持ってもらう。
- (3) 現在、理事会へ指導員出席を要請している。意見をお聞きする。
- (4) 指定管理者と連絡会議を行い。小平市民総合体育館温水プールの利用者にとって必要な教室運営を検討する。

【中期（5年後）・長期（10年後）】

- (1) 現在の正会員年齢構成から10年後の平均年齢が78歳となる。
正会員の年齢構成を下げないことには協会の維持は不可能である。
協会そのものの「目的や事業」に対する中期・長期のビジョンを明確にし、目的と事業の選択が必要。

第11回理事会に出席のジュニア指導員より意見要望を頂いた。

①ジュニアは5.6年生が多いので遅刻が多いので、庶務受付時間と指導への時間配分のバランスが難しい。

2021年度理事会には以下日程で指導員へ出席要請を行うので、普及委員会からのお聞きしたいテーマは事前にお知らせする。

※次回以降の理事会は以下で出席要請となっている。

普及委員会からお聞きしたいテーマを配信して頂きたい。

⇒次回理事会にて報告とする。

第16回理事会（12/16）⇒ 2021年度ジュニア指導員

第17回理事会（1/6）⇒2021年度成人シルバー指導員

第18回理事会（1/20）⇒会計担当・監事

第19回理事会（2/3）⇒広報委員会/中村委員 競技委員会/鈴木（良）委員

第20回理事会（2/17）⇒2021年度成人シルバー指導員

第21回理事会（3/3）⇒2021年度ジュニア指導員

第22回理事会（3/17）⇒広報委員会/中條委員 競技委員会/鈴木（良）委員

第23回理事会（4/7）⇒監事

次回理事会 12月16日（木）19時30分～ 体育館第2会議室
2021ジュニア指導員も出席対象